

知らない病院は不安

一人娘の来実さん(6)は生まれ
る時の低酸素性脳症が原因
で、脳性まひになりました。

話すことも歩くこともできま
せん。気管切開して痰の吸引
が必要で人工呼吸器も使って
いるので、毎日24時間、そば
で体調管理の気を配っていま
す。

私は今は健康です。来実
にはきょうだいがいらないの
で、短期入所は利用していま
せん。ただ、半年前、私が婦人
科系の手術をする必要になっ
た時、看護から利用している
診療所に1回だけ預けたこと
があります。日中だけで、夫
が夜に迎えに行く予定でした
が、預けている最中に来実の
体調が悪くなったため、特別
として宿泊させてもらいまし
た。結局3泊4日になりました
が、日頃から診てもらって

理想の一時預かりを考える①



澤津 利恵さん(43)

さわつ・りえ 1971年生まれ、須恵町在住。
一人娘の来実さん(6)は生後、九州大学病院
の新生児集中治療室(NICU)に、約2年
の入院生活後、自宅で暮らす。4月、県立相
岡特別支援学校(新宮町)に入学した。

いる先生や看護師さんだった
ので安心でした。

ただ、残念ながらこの診療
所は宿泊を伴う短期入所サー
ビスは実施していません。正
直、全く知らない病院だった
ら不安です。しかも預けら
れませんが、医師などの医療的
ケアが必要な子どもがいる複
数の母親たちから、いろんな
話を聞くからです。「預けた
ら肺炎を起して、別の病院に
入院させた」「看護師が忙し
いので、ひどい病気を発し

て、そうだった」とか。
妻の吸引の仕方は、子ども
によって違います。来実が初
めて接する新しい看護師さん
からは必ず「(吸引の管を)
どこまで入れていいですか」
と、どんな時に吸引したらい
いですか」と聞かれます。看護
師だからと言って、誰よりも
きないと思います。来実が言
葉を結ばないから、他人には
おなかが減っているのか、寝
たいのか、どこが悪いのかも
分からないでしゅう。

とまり木



は分かっています。でも自宅
近くで、安心して預けられ
る病院や施設があってもいい。
欲を言えば、子どもが案じ
る場所だったらいい。でもそ
んな場所や施設があるのか、
あったとしてもどこにあるの
か、なかなか情報を手に入れ
られないのも悩みの一つです。

私は来実を産んでから、気
合でしようか、思わぬらしい風
邪をひいたことはありませ
ん。ただ、来実が4月から特
別支援学校に入学して、痰の
吸引が必要な子は通学バスに
乗れないので、私が毎日約1
時間かけて送り迎えするよう
になりました。最近、私が事
故に遭うとか、病気になる可
能性を考えます。また両親が
健在で、吸引も手伝ってくれ
ますが、2人とも結構な年齢
です。方が一の時やばり「急
に明日」でも預けることがで
きる場所は必要でしょう。

預け先が、親の要請にすべ
て応じることばきないこと
を重点提案の1つで掲げている。

短期入所
障害者総合支援法に基づく福祉サービス。障害
者支援施設などが入浴や食事など基本的な介護サ
ービスを提供する「福祉型」と、医療機関が、疾
の吸引など医療的ケアに対応する「医療型」があ
る。ただ、重い障害児・若年性体が変わりやすく
体調管理が難しい半面、通所の入院より報酬が低
いことから、病院の参入は進んでいない。2
012〜13年に初めて在宅障害児・若の実態調査
を行った際はこうした親たちのニーズを
踏まえ、本年度は主に医療機関施設の普及
を重点提案の1つで掲げている。

